夕刊
磐城新聞
八月十二日發行

定價 一部金五錢 一ヶ月金六拾五錢（郵稅拾五錢）
廣告料 普通金六拾錢 特別金九拾錢（一行）
編輯印刷發行人 [illegible] 福島縣石城郡平町[illegible]番地
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇一六五五八番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩 南東の風晴れたり曇り夕立模様
明日 同

態度の自由（上）

平澤生

大海を知つてゐながら無理にも小さい井戸に閉ぢ籠り、鑄型通りの短歌を羅列してゐる職人的作歌態度や年期奉公式作歌態度が不思議にさへ思はれる。主義が統制するのか主宰者が強制するのか、主義に贊成するのか、主宰者に迎合するのか時々ある種の歌誌を手にし、二三頁を讀むに全く飽き飽きすることがある。これには歌があつても感動がなく、技術があつても藝術がなく、人間があつても自己がなく、自己があつても個性がない。一誌全體が『半徑ノ異ナル同心圓』的に、銘々同じやうにぐるぐる廻つてゐて進歩も變化も認められないのを見ると、短歌よりは子供の砂いぢりを見てゐる方が、個性も變化も氣魄もあつて面白い。

私は今、種々雜多の主張は結局『現實』と『浪漫』との優生學的變異（實作の伴はぬ机上空論もあるが）と觀て、原性種たる現實と浪漫とについてその一方のみに執することは誤つた態度であることを還暦ついでに考へてみたいと思ふ。我々は時代により年齢により或は日により時によつて現實的にも浪漫的にもなるが決してその一方にのみならされるものではない。現實性を以つて一貫され光被されてゐると思はれてゐた萬葉が、一部によつてその浪漫性が指摘されたが、それはそれとしてどんな現實的な作品にも一種の浪漫は漂ふものであり、如何なる浪漫主義の作品からも或る現實味は感得出來るのであるから、ものは何事も言ひやうなりである。この『ものは言ひやう』といふことは『ものは考へやう』といふことであつて、人生がそれだけ複雜多岐であり人間が千差萬別であり人情が感覺が個々違ふといふことであり、且つ『倦怠又は興奮狀態にある時我等は我等の視聽に觸れる一切の對象を倦怠又は興奮の色に染めて行く』との感情移入說の如く人間の觀念なんて始末にをへないもんだといふことである。これを短歌に持つてくれば短歌は結局個々のもの時ゝ場合のものであつて、○○主義とか××派とかに幻惑されたり所謂凝つたりするといふことは行爲習慣品性等の倫理靡義を持ち出すまでもなく、人間を偏跛にし作品を片よらせることは明かである。そして全人間的短歌が小手先の短歌となり、全能の短歌が半身不隨の短歌となり、年が年中じめじめしてみたり、或は夢ばかり追つてみたりすることにならう。

村道

高橋二郎

○馬鈴薯の花ほのかなる黄昏の村道にひとり妻を歸しぬ
○二度三度かへり見はすれ妻がかげ見わすに馬鈴薯の花のしろしも
○言ひ馴れし言葉となれる紙の値の暴騰を今日も客に語りぬ
○今にして定まも見わぬ紙の値を客に言ひつゝ仕事は受けぬ
○目つむりて君戀ふしぐさはかなけれとすべなきまゝの癖となりたり

弔孝女宮城野姉妹

黍雲 小野勝平

臥薪嘗膽重恩怨
巾幗仰看心操尊
春風秋雨三百歳
卿民長爲薦蘋繁

その日〳〵

8月13日

△天草の亂（寛永一四）△支那軍俄然我上海陸戰隊本部砲擊を開始（昭和一二）△蔣政府漢口日本租界を奪回（同一三）

○

雨乞や吹き來し風を力草　素風郎

講談

振袖横町（2）

須藤鐘一
荻原萬象畫

武藝帖（二）

その奥座敷には、主人の中坊平九郎、その前に座つてゐるのは、石川郎のお長屋前から伴はれて來た彼の美しい女。

傍に門弟の梅吉が控へてゐる。

『先刻は、いかに逆上致して居りましたとは申せ、とんだ人違を致しまして申し譯がござりませぬ……。何卒、お宥し遊ばして下さいませ――』

物耻かし氣に頰を染めて再び平九郎に頭を下げるのであつた。

仄暗い行燈の灯を受けた女の高島田の姿は、一しほのしほらしさが感じられる。

『いや〳〵、――なに、双方共怪我がなくて何より重疊――。ぢやが、そなたの名は……？』

『はい、あの……。藤と申しまする』

『うむ、お藤どのと申さるゝのかそれにしても心にかゝるは、御身の敵の話ぢやが、仔細がなくば聞かしてくりやれ』

劍客として修業を重ねた人ほどあつて、眼光の鋭ささながら人を射る儼然たる姿ではあるが、又何處やら、一道の審風が流れて威あつて猛からざる俤である。

『輕はずみの女と、さぞかしおさげすみもございませうが、今は何をおかくし申しませう――。私の故郷は和州郡山、父は本多忠烈公の御目附役　祿高二百石を拜領致して居りましたところが、劍術試合の意恨から、同藩の祐筆にて、新藤流の使ひ手、今熊軍兵衛と申す者の爲めに、闇夜の晩討に合ひ、果敢なき最期をとげました。軍兵衛は、それより逐天いたしましたが私には兄弟とてもございませぬ。たつた一人の娘女子とは申しましても父を討たれました無念には變りはございませぬ……。たつて殿さまにお願ひ仕りまして、母と共に仇討の旅に出ましたのが、昨年の秋のことでございまする』

『うむ――なるほど』

平九郎は、お藤と云ふ女の物語[illegible]聞いてはゐたが、一生懸命にのべる女の言葉の[illegible]に何處となく腑に落ちない點のあるのを感じてゐた。

はてな？この女の言葉の何處に不審な點があるのであらうか？

と心の中に繰り返し〳〵考へてゐたが去り氣なく、

『母御と共に、敵討ちの旅に出られたと申されたな？母御は矢張江戸表にお住居かな――。さすれば、これなる梅吉に申し付け、御住居迄お送り申させやう――』

『ハイ、重ね重ねの御親切なる御言葉、藤は嬉しゆうございますが、母も共に廻國致して居りまするうち、悲しや母は敵の姿も見ず旅の空に病み、みまかりましてございます』

『旅の空で母御は御病死？これは御愁傷な次第ぢや。うむ、何んと言はれたな敵は、そう〳〵、今熊軍十郎か、その者はそなたに取つては、父の仇でもあり、また母の敵でもあるわけぢやのう』

『はい』

『して、そなたの御住居は？』

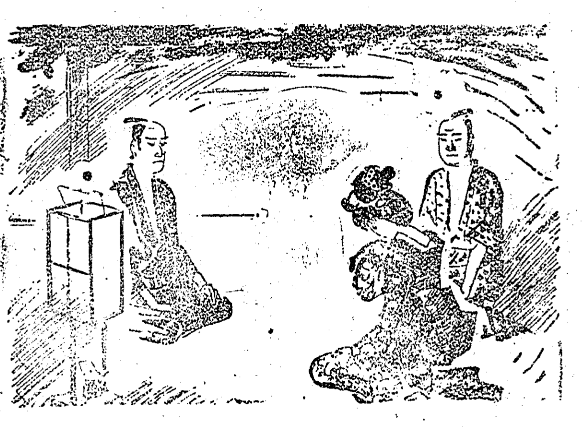
『あのう。――先生、私は本日江戸表へ到着致しましたばかりでございます。そして、お姿が似てをりましたので先刻のやうな御無禮[illegible]』

『なに？、江戸表へ――して、いづれより』

『はい、佐倉の親戚より』

『佐倉に親戚がござるか？』

『はい、佐倉には伯母が居りまする』



夜間診療
胃腸性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
（見習看護婦募集）
松村胃腸性病科醫院
（平市南町電一〇七番）

故障の起らぬ
原口のラヂオ
特典 電灯屋內配線無料 聽取申込料無料 受信機試驗料無料
期間六月一日ヨリ七月卅一日マデ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

お醬油は……ヤマフル
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
壚屋 山崎合名會社
福島縣平市 電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科
高柳醫院
醫學博士 高柳博明
平驛前 電三三六

御知らせ
和洋結髮、パーマネント
御婚禮用 貸衣裳 貸かつら
此の度知人の御勸めにより初めました
御用命の程を御願ひ致ます
平市新田町
手塚美容院

暑中御伺申上候
實株ハ買ツテ御手元へ必ズ儲カル優良株
投資指針
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話一九一

皮膚科 泌尿器科 性病科 專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

八月新譜中
街に野に山に
愛國流行歌 大平洋行進曲 大日本傷痍軍人の歌 荒鷲の歌
流行歌 日の丸鳥車 廣東ブルース 雨の上海 港シャンハイ
浪花節 婦人後軍歌 米名 清水港 虎造
洋樂名曲お知らせ
コロムビアーレコード 懷しの名曲集 ワルツ集 拾參圓二十錢
ハワイアンアルバム 四圓九十五錢
ビクターレコード 四圓九十五錢
愛好家協會豫約募集 シユーマンウアイオリ協奏曲 毎月參圓參拾錢
ベートレ第一交響曲 拾參圓四十八錢
テレフンケレコード 拾參圓四拾八錢
ウインナワルツ集 拾壹圓
ビクター コロムビア ラヂオ特約店
金光堂時計店
平市五丁目 電話一九五番

只今入荷
金鷄印
天然バター
金鷄ミルクの北海道札幌工場製の天然バターです。
天然バター品薄の折柄是非御用命下さい
$\frac{1}{2}$ ポンド $\frac{1}{4}$ ポンド詰
西村屋藥局
電話3番

吉田眼科醫院
醫學士 吉田久雄
平市紺屋町 電話六八番

中等學校制服……大特賣
高
高島屋の洋服
男女學生服新入荷
注文並ニ既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

募集
永續者には將來の保證を致します
ボーイさん ◇堅實な營業方針のサロンのお客樣は當地一流の方々です ◇色々な方に接することが社交儀禮の實際に學び成功の糸口ともなります
調理見習婦人 ◇評定あるサロンの調理法を御傳授いたします ◇見習ひとして調理場に御勤務出來る御婦人に限る
◇14歳以上30歳迄の健康な方
◇3年以上勤續出來る方
◇親權者若くは本人御來談下さい
平市銀座街
サロン
電話529

鑑定項目
名前のみで一代の運命
何んでもわかる……
体力 肉体 疾病（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動 職業 天運（適業、不適業）（天運、成功、不成功 炎厄）に關する一切
血緣 家族運 男女緣（父母の緣、夫婦の緣 子供の緣）（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名
日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町 三六

日本石油株式會社特約店
フイッシャサン石油株式會社重油特約店
福島縣平市一丁目（電話六十一番）
株式會社關彰商店平支店
本店 茨城縣下館町 電話五五、三三九番
支店 茨城縣土浦町田宿 電話六五三番
茨城縣久慈町 電話一三七番
茨城縣多賀郡關本驛前 電大津一四七番
福島縣四倉驛前 電平潟五四番
福島縣小名濱町 電話四八番
油槽所（常磐線泉驛前）
海岸給油所（大津港、平潟港、江名濱）
ガソリン給油所（土浦町新國道日本石油給油所 電話八二番四）

「延びる日本」の縮圖
晴れの大臣賞を約束される
子寶部隊既に五家族

國策型子寶部隊――市内新川町二洗張屋さんの馬目伊三郎さん(六二)も妻女センさん(五五)との間に勝彌さん(三二)を頭に合計十人、晴れの大臣賞を約束されて羨しい『健康家庭』である
二女スミ子さん(三〇)二男國三郎君(二七)三男政雄君(二五)三女稻子さん(二三)四男弘吉君(二〇)五男芳久君(一八)六男孝芳君(一六)七男昭平君(一三)四女清子さん(一〇)
市内の子福者は本社調査によると既報の如く既に銀治町國府田(十一人)田町篠原(十八)中鹽關場(十三八)四波和田(十一人)の四家に前記馬目家を加へ都合これで五家族に上つたわけだ

農業が一番
多子家庭の職業別

多産奬勵のため當局の調べたところによると多子家庭の職業別は農業が一番で次は商業、漁業、工業となつて居る、大體中流階級に最も多く次に下層上流階級の順である
また、その結婚平均年令は男子二三才、女子一八才で最高は男子三六才、女子二八才、最低が男子一七才、女子一四才であると

國債懇談會
十五日平局で主催

平局に於ける支那事變國債消化成績の良好なるは既報の通りであるが更に賣れ行きの強化を圖る爲來る十五日午後六時からマルトモホールに於て國債消化に關する懇談會を催し各方面有志の協力を求めると

國道改良愈有望
大藏省へ豫算要求

縣案國道六號線改良工事は愈よ内務省でその必要を認め大藏省に豫算計上方要求の手續きをとつた折から金森仙台土木出張所長が明十二日午後一時東京から歸廳の途次來平、長橋町の改良事務所に立寄るので青沼市長外沿線町村長らは同所長から中央の事情を聽き明後十四日上京陳情の參考に資することゝなつた

体育指導員
下山田敎諭任命

磐中敎諭下山田尙方氏は縣の學校、社會体育視察指導員に任命された

踊りも七夕も廢止だ
「自肅」舊盆前奏
盆入りにあと半月

物資節約は中元の贈答を廢止、愈よ十五日から舊の盆月に入るといふのに更に前景氣も出ない程ひつそりとした戰時下緊張の舊盆前奏曲である、之が平時ならそろ〳〵迫つた『色彩の宵』七夕を前にして本町筋が中心となり先進仙臺市に劣らぬ豪華版の展開に腐心するがこの七夕祭も昨年からは殆ど中止も同然、今年もこの日(二十一日)が近づいたが紙節約の折柄早くもお互ひが自肅して居り、また何らかの形式で『七夕廢止』が通牒されるものと見られてゐる
尙ほ舊盆最後の行事である鎌田の流燈會も既報の如くほんの名ばかりに濟ませる方針であり、盆踊りの野趣も緊張の聲と共に消わる靜かな今年の盆風景であらう

放送局誘致
町村支會でも運動

平市の放送局誘致運動に合流し石城町村長支會でも平市に設置されゝば郡下六町三十二ヶ村約五萬戸(人口二十五萬餘)ばかりか双相二郡下もこれによつて蒙る恩惠が少くないと、近く設置促進の陳情書を日本放送協會其他關係筋に發送する

新非常時風景
女の自轉車乘流行

手不足は女の手で……非常時切拔けに新職場のひらかれた折柄、小走り等も敏速にやらねばならない處からけふ此の頃の女の自轉車乘りがだいぶ目に立つて來たやうで街の横丁や夏休みの小學校庭にはこの猛練習の非常時風景が毎日描かれてゐる

甲種臨海便り（四）
平第一小學校

八月十日(木)雨後晴
昨日午後からの雷雨は遂にこぢれて了つたらしく今日は起きるとから雨だ、雨の海はほんとに退屈な物だ五時半起床。部屋の整理、洗面、終つて部屋の中で宮城遙拜挨拶、ラヂオ体操をする。何となくつまらない外には小雨が煙つてゐる、昨日の樂しみだつた飛行機見物も出來さうにない。食事の後勉強にかゝつた。いつもより長い勉強だ。十時頃雨が上つたので皆で海に出かける、海水浴場の危險の札のかゝつてゐるあたりに凄い、澤山な海草が打ち上げられ大勢の人が海草を山の様に拾つては運んで居た僕等の目的は新井田浦の飛行機だ。幸に空からは薄日も洩れ出して來た、遠い道た。點々と赤帽が動く。走る、叫ぶ、ボールを投げる新井田浦の原つぱの入つた所に黄色に塗つた飛行機が行儀よく並んでゐる。見物人が澤山集つてゐる。僕達は搭乘の人から飛行機の色々の話をお聞きした、間もなく飛ぶのださうだ。もうお晝過ぎになつたので僕達はそろ〳〵歸途についた。そして其處から四百米程北の方で見物してゐた。間もなく飛行機は大勢の人の手で砂濱に運ばれて來た。げなどいろ〳〵の準備があるらしく人々が行つたり來たりしてゐる、其の中プロペラの廻し方が始つた。プロペラに綱をつけて大勢で引つぱつたがエンヂンはかゝらなかつた。二三度失敗した後右側の飛行機のプロペラが勢よく回轉し出した。つゞいて左のにもエンヂンがかゝる。ブルル……僕等の所にもはつきりと聞える僕等は大喜びだ。先生方は代る〳〵望遠鏡で見てはいろ〳〵と情況を放送する。その中に右側の機がゆる〳〵滑走し始めた、五十米百米、百五十米、段々速力が加はつて機はフワリと砂を離れた凄い爆音、僕等の頭上をすさ〳〵に飛ぶ飛行機から操縱士が手を振つて行く、僕等も思はず萬歲を叫んだ。機は北から西へ、それから南へ向つたと思ふとグッと機首を下げながら東から北へ向つて着陸するかと思ふ程下つて來ると又爆音勇ましく舞ひ上つて一旋回した。二回目の旋回にかゝつてゐる間に地上の一機が滑走し始める。かうして四回程低く旋回して飛行機は眞直ぐに南へ飛んで行つてしまつた。
遲い晝食を終つて午後は海氣館の前で水泳の練習をした。今朝の雨を忘れた様に太陽は雲の間からギラ〳〵と輝いてゐる。海の水も昨日よりずつと暖かだつた、砂原に太陽がかげるまで遊んでから海岸を一巡して宿に引き上げた、朝は隨分つまらなく思つたが今日は今までの中で一番面白く愉快な日であつた。

地雷發見の神樣
市内四丁目出身の
高崎季夫部隊長

『闇の奇襲突擊』の重要任務を帶びて昨夏大陸に姿を現した市内四丁目出身(磐中第七回生)高崎季夫氏を部隊長とする部隊は連戰こゝに一年、冀中、冀南、山西南部、安北、魯南、路安の各作戰に協力赫々の武勳をたてゝゐるがこの間兵の一死報國の心眼によつて暗夜の鐵路に敷設された敵の地雷火を發見、鹵獲したものはすでに百個を突破し高崎部隊の征くところ如何に巧妙に埋沒された地雷火も絕對に見のがされないといふ靈的うまさを示し敵の地雷作戰は完全に破られてゐる
或は各作戰に協力しては驗足をかつて闇の戰線を驀進、敵の退路を絕ち常に體當り戰法でこれを殲滅してゐるがなかでもさる一月末、敵五百の夜襲をうけた京漢線漕河驛の救援に赴いた部下三勇士が漕河驛北方約一千キロの地點で地雷火を發見これを掘出さんとしてゐるとき敵三百の包圍攻擊をうけ、交戰一時間半ののち寡兵よく、これを擊退した奮戰談は鐵龍部隊の名を轟かしめ、同部隊は魯南作戰に協力中去る六月二十七日膠濟線張店附近で千學忠軍と連絡のため潜入を企てた共產八路軍系第十一師長劉英臣を列車中、捕縛するなど數々の殊勳をたてたが高崎部隊長はこのほど鐵龍部隊の志氣を象徵する『鐵龍歌』を作詩、鐵龍歌の響くところ赫々の武勳がたてられてゐる

蓮沼縣代表中支皇軍慰問使無事歸還
十五日公會堂で歡迎會

灼熱の中支を南船北馬、本縣代表慰問使として前後一ヶ月半の旅程を了へた本社長蓮沼縣議は既報の通り大内、佐藤、唐橋、早川の四僚使と共に昨夜七時半無事東京着、今十二日午後七時上野發、明十三日午前零時七分仙台着、同日中第二師團、翌十四日縣に夫々慰問狀況を報告の上同夜福島ビルに於ける福島民友新聞主催合同報告講演會に於て一と役を濟まし十五日午後二時五十分着の磐城線で前後五十二日振りの平に歸着、公會堂に於ける青沼市長、革新會主催の歡迎座談會に出席、挨拶旁々現地の實情に就き座談を交すことになつてゐる

江名町葬

江名町では五月六日前戰で戰死した步兵曹長片寄英秋、四月二十四日戰病死した輜重兵上等兵白山房一兩君の町葬を十三日午後一時から同町永崎分教場で執行する

蠅取大會終る
抽籤は明後日

市内長橋町高木喬氏主催の蠅取大會は昨今兩日に亘り市役所構内で催されたが二日目、今正午現在捕獲數は四十七萬七千余(參加一、七四六名)入賞決定の抽籤は明十二日のところ十三日に延期した

幽靈女中を種に
巧妙な詐欺老爺捕まる

當世の女中排底につけこみ市内料理屋飲食店等を騙り步いた巧妙な詐欺がつかまつた。去る防空演習前後遊村大字釜戶高木菊次郞と稱する五十がらみ農夫態の男が南町松本樓に現はれ、妹きくが夫に怪我をさせ四兒を抱えて困つてゐるので十五になる總領娘を使つて貰へまいか、と哀つぽく持ち掛け當人を呼ぶ汽車賃として同家から三圓を詐取し更に何日かを經て同樣手段で新田町金よしから二圓をせしめ、約束の日に當人の來ぬに不審を抱いた金よしで『松本樓の親類だが滿員で駄目だつた』と去り際に云つた言葉から、同家に問ひ合せはじめて共々してやられた事が判明したが件の男は此程湯本町地内に於て平署の手に捕はれ目下取調べを受けてゐる

遠藤家美擧

此の程山形縣靜岡市に於て物故した元磐中教諭遠藤平太氏男元五氏は時節柄香奠返しを廢し國防費として若干献金した外磐中圖書部に多額の圖書費を寄附した

鑛山用機工組合

市の鑛山用機械工業組合創立總會を十六日市公會堂に開く

齊藤氏寄附

市內田町齊藤利彦氏は此程磐城訓盲院で開いた塾展の趣意書就即席揮毫の純益一圓を市軍事後援會へ寄附

陣中を聽く
……(448)……

餘りに弱い敵だが
寸時も緊張を欠かぬ
西内牧造君（中尉）（通信）

激勵御慰問の壽簡難有拜受致しました殊に郷土の異常な發展、事變以來續いての豊穣等吾々戰線に行動するもの均しく歡喜致し銃後の皆様の御努力に感謝致して居ります。お陰様にて後顧の憂更に無く東洋永遠の平和、理想境實現に協力邁進の選手とし第一線に活動しつゝある吾々が最大の幸運見なりと自覺し御奉公を悉くさして頂いて居ります。
現地附近は支那に於ける三大暑熱地の一として又世界三大不健康地の一として知らるるとか申されて居りますが酷熱も悪疫をも克服し益々元氣で任務を遂行致しつゝあります。何卒御放念の程を御願ひ致します。尙數多くの兵馬を預り殊に傷病馬の診療や防疫に又は仔馬の育成等長期戰に次期行動に對しての準備に忙殺されて居ります。
去る支那事變第二週年記念日には警備地區内の銃劍術大會、相撲大會、演藝大會等前線に在るとは思はれざる餘裕綽々たる休養を致しました。又七月五日には銃後國民の御芳情による恤兵品の蓄音器を頂き團扇を手にして夕食後の一刻を故郷の涼み台風景を偲んで居ります。
最近のニュースト滿蒙國境では白系世界最强陸軍と誇るソ聯をして顏色なからしめてゐる模樣ですが實に痛快の至りです、それに反して吾々前面の敵は餘りに弱く張合ひがありません。併し一瞬時と雖も緊張を欠く樣な事は決して致しません。本年頭に於ける宣誓當時の心境は最後迄不變です向暑惡疫流行を控へて三萬五千市民の益々御健康御多祥ならん事を願ひつゝ乱筆にて御願ひ申上げます

平市慶弔錄

△出生 大工町一五橋本長三郎氏三男正三君、鷹匠町一金子堅一氏長男有一君、久保町二二澤田秀夫氏長女靜子さん
△死亡 三丁目二四猪狩正治氏(四)

十三日 【小名濱測候所觀測】
滿潮 前〇、二五 後三、〇五
干潮 前七、五〇 後八、一〇

十四日
滿潮 前一、二五 後三、三〇
干潮 前八、四〇 後八、五五

舊六月二十八日　日曜　壬午　先負　開　星宿　新八月十三日

▲一白 虛榮は前路に横はる邪魔除けて一途に進め▲二黑 波風たき葉に見へても油斷のならぬ日なり▲三碧 隙を見すれば誘惑に乘せられ易し注意せよ▲四綠 着實なれば午前より午後と次第〳〵發展す▲五黃 事態の如くならず從つて散財も伴ひ易し▲六白 思はぬ所に手落の生ずることあり避ねば凶▲七赤 共から共と空想に走りて實益に遠ざかる日▲八白 發展を望むより平和を願ふべし失物も注意▲九紫 自ら率先して勵むときは圓滿の裏に發展す

舊六月二十九日　月曜　癸未　佛滅　閉　張宿　新八月十四日

▲一白 理論にへんする時は實務は其方除となるべし▲二黑 巧みなるより拙き方が未來の勝はあるべし▲三碧 高樹には風多し兎角根本に注意せらるべし▲四綠 感情の衝突を避け內外ともに拴目たるべし▲五黃 多くの人を用ふるよりも一家水入らずが利▲六白 けん盛と愼愛るけ總ての惡感を美化し去べし▲七赤 靜止の犯より活動に移り行く日努力すべし▲八白 ふさけばふさぐほど煩もんじけたいを生じ來る注意日▲九紫 威儀禮節を正すときは人皆な我に親むべし

廣告

酒トマヅイ
おでんの
榮ちゃん
平市田町花ノ里
電話三三三番

電話開設
三六五番
平市中町二三
平調度社
坂本浩
營業種目
販賣、購買品ノ調度。購買代金ノ立替
商品ノ廣告、宣傳。人事百般ノ調査。
其ノ他代理用達

「岐阜及新盆名入提灯」
毎度難有ク御禮申上マス
岐阜提灯ハ例年通リ薄利正札ヲ以テ勉强致シマス
名入提灯ハ各形取揃ヘ御注文ニ應ジマス
御注文提灯ハ御早ク御用命願ヒマス
平三
落花生問屋
加藤提灯部

職工及見習工募集
平市月見町
合資會社 佐藤鐵工所
電話 三六二番

登錄商標
優等賞受領
稻萬歲
稻妻
植田町
古川酒造店吟釀
電話 一六番

晝夜診療
外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
血液檢査每日
◎入院隨時
平市新川町（電四六四）
醫學博士 北川芳夫

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
㊮マルミ粉末石鹼
製造元 平市材木町一一